

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市域及び市役所の事務事業	意図	温室効果ガスの削減、地球温暖化の防止。
事業内容	地球温暖化対策実行計画に基づいて、市域全体の二酸化炭素排出量を削減するため、啓発チラシの配布、公用自転車の普及促進、環境家計簿コンテスト（節電チャレンジ）、一般家庭への省エネ啓発機器の貸出し等を実施する。クリーンセンターのごみ焼却施設屋上部に太陽光発電設備を設置する屋根貸し事業について5月に民間事業者と賃貸借契約を締結し、10月から発電を開始した。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年に地域温暖化対策地域推進計画を作成し、環境家計簿や緑のカーテンの普及、太陽光発電やヒートポンプ設置などに対する奨励制度など様々な取組を進めてきたが、当該計画期間が終了することに伴い、平成22年3月に新たに地球温暖化対策実行計画を策定。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	公用自転車の導入台数	13	14	14	
②	環境家計簿コンテスト結果	260	129	179	枚	↑↑↑	
③	省エネ啓発機器貸出世帯	45	15	6	世帯	↑↑↑	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 「ながれやま節電チャレンジ」を夏期・冬期の2回実施し、電力使用量前年比10%以上の節電（前年の節電チャレンジで達成している世帯は1%以上の節電も応募可能）した世帯に流山共通ポイントカード「ながぼんポイント」を500ポイント贈呈した。夏期は100世帯、冬期は79世帯の応募があった。また、家電の電気使用量を計測できる省エネ啓発機器の貸し出しなどを行った。						
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,949,903	5,373,844	5,385,418			
事業費(b)(円)		1,643,103	1,181,644	1,239,858			
うち一般財源		1,643,103	1,181,644	1,239,858			
職員給与費(c)(円)		4,306,800	4,192,200	4,145,560			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各種温暖化対策事業について、より多くの皆様に取り組んでもらえるように啓発方法や内容について改善を行う。	③取り組みの課題	引き続き民生部門の排出量を削減する取組を進める為、一層の啓発が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	ながれやま節電チャレンジの応募条件について、前年の節電チャレンジを達成している世帯に対しては1%以上の節電でも応募可能とした。	④今後の改善計画	各種温暖化対策事業について、より多くの皆様に取り組んでもらえるように啓発方法や内容について改善を行う。